

インターネットでの情報提供	
提供予定日	11月9日

平成18年11月8日 多治見市政記者クラブとの連絡会議配布資料		
担 当 部 署	担 当 者	電 話 番 号
名古屋工業大学 セラミックス基盤工学研究センター	石澤伸夫	0572-27-6811
岐阜県セラミックス研究所	服部 清	0572-22-5381

名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センターと 岐阜県セラミックス研究所との連携協定締結について

名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センター（石澤伸夫センター長、多治見市旭ヶ丘 10-6-29、以下「名工大セラ研」）と岐阜県セラミックス研究所（平井敏夫所長、多治見市星ヶ台 3-11、以下「岐阜セラ研」）とは、相互の発展と当地域の振興を図るため、平成18年10月11日に連携協定を締結しましたのでお知らせします。

【目 的】

名工大セラ研と岐阜セラ研は、従来から学術的な面を中心に個人的なネットワークにより連携してきたが、協定を締結することで組織間の連携を深めていく。それにより両機関の研究開発能力、技術開発能力をさらに向上させ、その成果により科学技術を中心とした当地域の振興を図っていく。

【連携事項】

- (1) 共同研究の推進
- (2) 実験設備／機器の相互利用
- (3) 研究討論会等による情報の交換
- (4) 人的交流
- (5) 地域振興に係る諸課題への対応

【今までの主な取り組み】

(1) 地域新生コンソーシアム研究開発事業

名工大セラ研と岐阜セラ研は、（財）ファインセラミックスセンター等とともに平成10年度から2年間、地域新生コンソーシアム研究開発事業でゲルキャストニングを用いた多孔質材料の開発を共同で実施した。本技術成果は、現在実施している都市エリア産学官連携促進事業の技術シーズの一つとなっている。

(2) 都市エリア産学官連携促進事業

平成17年度から3年間、文部科学省の都市エリア産学官連携促進事業で、（財）岐阜県研究開発財団の委託を受けて「次世代陶磁器製造技術の開発」を共同で実施しているところである。

(3) 3市研究所と合同の成果発表会

平成10年度から、多治見市陶磁器意匠研究所、瑞浪市窯業技術研究所、土岐市立陶磁器試験場及び岐阜セラ研で東濃4試験研究機関協議会を立ち上げ、研究会事業や合同の成果発表会を開催してきたが、平成16年度には名工大セラ研と4機関が成果発表会を同時開催（於：多治見市産業文化センター）、平成17年度は関係5機関で合同開催（於：セラトピア土岐）するなど連携を強化している。

(4)高性能顔料研究会

両機関は、平成15、16年度の2年間、岐阜大学、愛知工業大学とともに高性能顔料研究会を立ち上げ、その成果を現在実施している都市エリア産学官連携促進事業の技術シーズの一つとした。

【今後の展開】

- (1)両機関が持つ特徴を活かし、不足する部分を補完しあいながら、東濃3市の研究所とともに地域の科学技術振興、産業振興に積極的に取り組む。
- (2)名工大セラ研に、岐阜セラ研研究員を研修派遣したり、名工大セラ研の学生をインターンシップ制度に則り岐阜セラ研が受け入れるなど人的交流の促進を検討していく。

【その他】

名古屋工業大学は、すでに平成18年2月2日に多治見市と産業振興や地域活性化などを目的に連携協定を締結。